

札幌 市民防災

第24号

令和3年3月31日
札幌市民防災団体連合会

発行責任者 田畑 隆二

令和2年度 札幌市防災表彰式・ 札幌市自主防災講演会(中止)

新型コロナウイルス感染症拡大の状況において今年度は表彰式・講演会は中止となりました。受賞者の皆様におかれましては、例年ホテルにて秋元克広市長様よりお礼のお言葉をいただきましたが、今年度につきましては、各区長室にて区長様より表彰状の授与をいただくことになりました。受賞者の皆様おめでとうございます。受賞されました体験を地域活動の輪を広めていただきたいと思います。



東日本大震災から10年

札幌市長 秋元克広

札幌市防災表彰を受賞されました各団体の皆様におかれましては、日頃から地域の特性に応じた自主防災活動に熱心に取り組まれ、地域の安全・安心を守っていただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

また、札幌市民防災団体連合会の皆様におかれましては、日頃から札幌市の防災行政に御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、死者・行方不明・関連死が約2万2000人にも及んだ東日本大震災から10年となりました。改めまして、お亡くなりになられた方の御冥福を心からお祈り申し上げます。震災から10年が経ちましたが、被災地では、まだまだ復興と再建が道半ばとなっていますし、時が経つにつれて、風化という課題が浮かび上がっています。災害の教訓を伝えるとともに、今後に生かし続けていくことが大切です。どうか皆様におかれましても、今一度、過去の災害を振り返っていただき、自助、共助の精神で災害に備えていただくだけでなく、地域に、そして、将来を担っていく子ども達に災害に備えることの大切さを伝えていただくようお願いいたします。

札幌市では、この一年間、新型コロナウイルス感染症の脅威にさらされ続けてまいりました。札幌市といたしましても、市民生活に大きな影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症の収束を最優先課題として取り組んでまいります。

市民の皆様と一丸となってこの未曾有の危機を乗り越えてまいりたいと考えておりますので、皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、札幌市民防災団体連合会におかれましては、今後益々の御発展と、会員皆様の御健勝、御活躍を心から御祈念申し上げますとともに、引き続き札幌市の防災行政に特段の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



令和2年度 札幌市防災表彰団体



受賞団体

中央区 札幌時計台ビル
中央区 南円山連合町内会
北区 太平百合が原連合町内会
北区 拓北・あいの里連合町内会
東区 札幌地区自治連絡協議会
白石区 札幌アポロ株式会社

厚別区 厚別東町内会連合会
豊平区 豊平地区町内会連合会
清田区 清田ファミリータウン町内会
南区 藤野第一町内会
西区 札幌鉄工団地町内会
手稲区 富丘連合町内会



地域での「互助」・「親睦」で安全・安心まちづくり

札幌市民防災団体連合会 会長 田 畑 隆 二

時下、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より当会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年は、新型コロナウイルス感染症の拡大の中、新年を迎えました。緊急事態宣言や外出自粛等なかなか通常生活には戻れません。

1月に開催予定の札幌市防災表彰式時に行っておりました防災セミナーも中止となり大変残念に思います。

しかしながら、自然災害の発生増加に伴い、地域の防災活動の重要性が一層高まっています。町内会活動の中での「互助」と「親睦」の推進や共有が、地域の「安全・安心まちづくり」に繋がると考えております。

当会も、札幌市危機管理対策室との連携を図りながら、防災情報の発信、セミナーの開催、広報紙の発行で地域防災活動の紹介等を進めて行き、地域の防災活動に貢献して行きたいと考えております。

今後とも、札幌市民防災団体連合会に更なるご協力をお願い申し上げます。



コロナ禍においても誰もが安全・安心に暮せるように

危機管理対策室 室長 萩 田 葉 一

はじめに、新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになられた方の御冥福をお祈り申し上げますとともに、御遺族の方には心よりお悔やみ申し上げます。また、医療の最前線で新型コロナウイルスと向き合う医療従事者の皆様に心から敬意を表するとともに、現在罹患されている方々、不安な状況で過ごされておられる方々に、心よりお見舞い申し上げます。

札幌市民防災団体連合会の皆様には、日頃から地域の自主的な防災活動に先進的に取り組まれておられるとともに、防災の取組の全市への普及に御尽力を賜り、深く感謝申し上げます。

平成11年度から行っている防災表彰は、地域における自主的な防災活動に貢献いただきました町内会などを表彰するもので、今年度受賞された12団体を含め、現在までに札幌市内の238団体が受賞しています。

令和2年度の防災表彰式につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に取り組んでいる状況を踏まえ、各区ごとの表彰式とさせていただきます。例年とは異なる形となりましたが、御理解をいただきますと幸いです。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に御協力をいただいていることで、毎年実施してきた防災訓練を中止されたり、規模を縮小し、検温やソーシャルディスタンスの確保などの感染防止策を講じたうえで活動を続けていただいたり、地域での自主防災活動が大幅に制限されたことと思います。皆様方には、誰もが安全・安心に暮らすことができる地域づくりを進めていただくため、引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に御理解をいただくとともに、自主防災活動の更なる活性化に御協力くださいますようお願い申し上げます。

終わりになりますが、皆様の今後ますますの御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げます。

区を越えた合同防災訓練の実施

豊平地区町内会連合会 会長 中 川 昭 一

この度令和2年度の札幌市防災団体表彰を受賞いたしました。豊平地区は札幌の中心を流れる豊平川を東に渡った札幌の中心部に一番近い歴史のある地域です。

最近商業ビルやマンションが増えたとはいえ、古くからの住宅や石造りの建物も残っている街であり、早くから防災、防犯活動を進めてまいりました。地区会館や留学生会館、小学校の校庭やグラウンドなどを会場として毎年地区防災訓練などを開催してまいりました。

豊平地区には4校の小学校があり、特に東園小学校は白石区と通学区域がまたがっており地域との各種活動の案内など区単位の調整などに苦慮してまいりましたが、平成29年9月9日白石区の東札幌町内会連合会との共催により防災訓練を開催することとなり、大型で強い勢力の台風接近災害想定の下での基幹避難所訓練を開催いたしました。両地区から200名以上の地域住民、小学校などの協力参加により東園小学校体育館とグラウンドにおいて開催いたしました。

新型コロナウイルスや2月13日発生の福島沖地震など大変な時期ではありますが安心安全な街として地域の防災活動に邁進いたしてまいります。



役員による安否確認訓練

清田ファミリータウン町内会 総務部長 村 上 康 博

清田ファミリータウン町内会では、一昨年、「役員による安否確認訓練」を実施しました。これは胆振東部地震の停電を契機に発案されたもので、独居老人宅への安否確認のほか、医療支援の仲介、電気・水道・家屋倒壊の状況などを、携帯メールを使って「会館にいて情報発信する人」と「自宅に居てあたかも近隣をみてきたかのようにメール報告する人」に分かれて模擬的になぞってみました。時間の経過と共に、地震発生から停電、断水などが刻々と発生し、独居老人の近くの役員に安否確認の要請メールが発信され結果が報告されます。これを参加役員全員に一斉メールで送信して情報の共有化を図ります。ただ、給水車からの水配りの代行、火災発生に伴う避難の呼び掛け、行政への支援依頼などに課題が残りました。役員だけの訓練でしたが、参加役員に過大な負担にならないように配慮し手軽に実施できる訓練にして、繰り返し実施していくことが大切だと考えています。



防災意識のさらなる向上を目指して

富丘連合町内会 会長 久 瀧 洲 一

この度、札幌市防災表彰団体として表彰の栄を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。近年は多種多様な災害により、多くの尊い生命や財産が失われております。このような災害に備えるため、当会では「避難所運営訓練」を実施し、大人・子どもを含め、多くの住民が参加しております。

この訓練は、災害発生時に迅速かつ的確に行動し、円滑に避難所運営ができるよう、防災力の向上を図ることが目的であります。この訓練では、座学のみではなく、体験することを重視し、段ボールベッドの制作や防災グッズに触れてみるなどの、実践的な訓練を取り入れております。

札幌市では、平成30年の北海道胆振東部地震により、多くの方が避難を余儀なくされました。

このような災害が発生するたび、地域ぐるみで防災力を高めることが極めて重要であると、改めて痛感させられます。

私たちは、今回の表彰を契機として、今後も「富丘のまちは自分たちで守る」という強い心を持ち、防災意識の一層の向上を図っていく所存です。



地域の企業が防災のためにできること

札幌アポロ株式会社 取締役 井 門 幹 晴

この度、札幌市防災表彰団体において企業として初めて選出していただいたこと、誠に光栄に存じます。

当社は、『地域とわくわく、地域にあんしん、地域へまっすぐ』という理念の元、1959年の創業から60年以上にわたってプロパンガス・灯油といったエネルギーを地域のご家庭や法人のお客様に供給しています。

2019年以降は北海道胆振東部地震の経験をふまえて、企業理念の中で新たに『地域の防災に貢献する』という行動指針を掲げ、これを実現するための活動として防災イベント〈イザ！カエルキヤラバン！〉を実施しています。

このイベントは『防災をもっと身近に、もっと楽しく。』を合言葉に、各地域のお子様やその保護者の方々に防災にまつわるクイズやミニゲームに取り組んでもらう内容で、楽しく正しい防災知識・技術を身に付けられるという特長があります。

2020年の春頃からはイベントの開催が難しい状況が続いていますが、災害はいつ・どこで起きるかわかりません。状況が落ち着いた後には、活動範囲を札幌市全域に広げ、地域の皆様に継続して防災について学んでいただく機会を提供していく所存ですので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



令和2年度避難場所運営研修開催

北郷親栄第一町内会 会長 **田 畑 隆 二**

例年、各区で開催されております令和2年度の避難場所運営研修が令和3年1月12日に北白石中学校（白石区）で開催されました。コロナ禍中の開催の為、学校関係者・地域住民・各団体等参加人数の制限がありましたが、札幌市危機管理対策室訓練・研修担当係長 浦瀧様、(公財)札幌市防災協会様のご協力により開催されました。

札幌市の防災体制については、①札幌市職員の配備体制②避難所の開設・運営の基本的な考え方について、平成30年北海道胆振東部地震を参考に説明を頂きました。

札幌市避難所運営マニュアル（別冊）新型コロナウイルス感染症への対応に係る補足事項（令和2年8月策定）を資料に研修されました。

特に、避難者の健康管理・衛生管理（ごみの処理）・備蓄物資（衛生対策追加分）・消毒方法等説明が有りました。

また、新型コロナウイルス感染症対応時の体育館・感染症室のレイアウト例も説明頂き大変参考となりました。最後に北白石中学校の備蓄品庫や緊急避難時の学校解錠方法の説明で研修会が終了致しました。



【特別寄稿】 ～3.11を忘れない～



震災から10年 浜辺での活動と被災地で学んだこと

北の里浜 花のかけはしネットワーク 代表 **鈴 木 玲**

私たち「北の里浜 花のかけはしネットワーク(はまひるがおネット)」は、東日本大震災で津波被害を受けた海岸の植生復元を、北海道と現地をつないで、地域のさまざまな主体と協働で続けています。津波で海岸は、コンクリートがひっくり返り、松林がなぎ倒されていましたが、その年の夏には僅かに残った海浜植物が花を咲かせ、悲しみに包まれていた被災地の人々の心を希望の光で照らしていました。植物が繁茂していった元の海辺に戻っていくかと安心したのも束の間、3年目くらいから大きな防潮堤建設と松林の復旧のための盛土工事が急ピッチで始まり、再び海辺の自然が壊されていきました。これを憂えた現地の人々とともにタネを拾い、石狩中学校の生徒や北海道の企業・NPOの方々や苗を育て、現地の中学生やNPOの皆さんと植えていきました。共に作業をしながら、被災後のこと、復興のこと、上手くいったことや後悔していることなど、少しずつ伺いました。避難訓練の大切さ、避難所でのルール作りや子ども達や女性へのケア、インフラ建設計画への反対意見の言いにくさと合意形成の難しさ、心の復興への新しい取り組みと震災後にできた嬉しい交流などなど、どれも私達にも大きな学び合いになると感じました。そこで札幌にも年に4組8人ほどお招きし、カフェで体験や想いを語っていただきました。

よく言われることですが、明暗分けたのは、行政や地域の役員による物資や対策の準備よりも、避難訓練、そして平時のコミュニティづくり、特に祭りや打ち上げや冠婚葬祭などの一銭にもならない活動だったとのお話が印象的でした。コロナ禍の今ですが、工夫が必要ですね。

編 集 後 記

東日本大震災から10年目を迎えましたが、未だ被災した地域の方々がご不便な生活をお送りされております事11日のテレビを拝見して当日の事思い出されました。一日も早い復興をお祈りします。

昨年は新型コロナウイルス感染症発生によって各団体、町内会におきまして年間計画も中止になりました。特に子ども達が楽しみにしてました学校行事、地域での盆おどり、お祭り等が中止になりましたが、コロナが早く終息し、楽しい日々が戻ってほしいですね。春を迎え外出する機会も多くなりますので健康には十分気をつけて下さい。

副会長 広報部長 渡辺 恵美子 FAX・TEL 011-851-9583 番

印刷所 北晃社 斎加印刷所
札幌市西区八軒1条東5丁目
電話 011 (631) 1271